

山形大学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

山形大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学士課程

山形大学は、学部の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位数を修得した学生に「学士」の学位を授与する。これによって、以下の能力・知識・態度が身につけていることを保証する。

1. 専門分野において中核となる学術上の成果を修得し、これを社会生活や職業生活の場で実践的に活用する能力を持っている。
2. 健全な批判精神を持つ良識ある市民にふさわしい教養を身につけている。
3. 言語や情報処理に関する基礎的運用能力を持ち、現代社会に適応するためにそれらを向上させようとする態度を身につけている。
4. 探求心をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度を身につけている。
5. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に主張するとともに、自らの責任を強く自覚し、問題解決のために多様な立場の人と協同することができる。

大学院課程

山形大学の各研究科は、教育・研究の理念や目的に沿った教育課程を修了し、研究科が行う修士論文あるいは博士論文の審査及び試験、またはこれに相当する授業科目に合格し、これによって以下のような研究能力や技術開発能力、高度な専門的知識を修得した者に学位を授与する。

1. 修士課程・博士前期課程・専門職学位課程にあつては、幅広く深い知識を備え、専門分野における研究能力や技術開発能力、あるいは高度な専門職を担うための能力を獲得している。
2. 博士課程・博士後期課程にあつては、学界に寄与する優れた研究の推進、あるいは先端的な技術開発の貢献によって、研究者として、高度な専門職従事者として十分自立して活動できる能力を持っている。

山形大学 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学士課程

山形大学は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、学生が主体的に学ぶことのできるように、学習の系統性に配慮しながら教育課程を編成し、これに従って教育する。

1. 基盤教育では、学問の実践に必要な基礎的能力と健全な批判精神に裏打ちされた幅広い知識を身につけさせるため、「導入科目」「基幹科目」「教養科目」「共通科目」「展開科目」を配置する。

2. 専門教育では、学生の探求心を励まし、中核となる学術成果と基本的な学習方法を修得できるように授業を体系的に配置する。また学習の成果を社会生活や職業生活の場で活かせるような実践的授業も配置する。
3. 学習成果の評価においては、明確な成績評価基準を策定し、学生が自ら知識や理解の到達度を正確に確認できるように配慮する。
4. 学生の問題発見や問題解決に対する姿勢、さらに主体的に学習に取り組む努力を評価する。
5. 自然環境の保全を意識させるとともに、国際交流や地域社会との交流の機会を設け、社会的自覚・指導力を育む。

大学院課程

山形大学の各研究科は、教育・研究の理念と目的に沿って組織的な教育・研究指導体制を編成し、学生が将来の見通しをもって研究に専念できるための教育・研究環境を用意する。

1. 身につけるべき研究能力や専門的能力を具体的かつ体系的に示し、これが実現できるように授業科目を配置する。
2. 学生の研究・技術開発や専門知識修得の進展に応じた研究指導と教育を実施し、能力育成のために十分な教育体制と研究環境を用意する。
3. 研究・技術開発や専門知識によって職業従事が可能となるような修学上の支援を行う。